

2 個別労働紛争のあっせん

(1) 概況

個々の労働者と事業主との間の労働関係に関する紛争について、当事者の申請に基づいてあっせんを行っている。

平成29年度は、新規申請が8件で、全て労働者からの申請であった。申請内容では普通解雇に関するものが最も多かった。

取り扱った8件中、7件が終結した。その内訳は、解決3件、打切1件、不参加3件であった。

第1表 取扱件数

年度	区分	前年度 繰越	新規申請			合計	処理状況	
			労働者	使用者	計		終結	繰越
27年度			14		14	14	13	1
28年度		1	8		8	9	9	
29年度			8		8	8	7	1
計		1	30		30	31	29	2

第2表 申請内容内訳（新規申請分）

区分	27年度		28年度		29年度		合計	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
解雇・退職強要・雇止め	7	31.8%	2	12.5%	5	55.6%	14	29.8%
配置転換、出向・転籍	1	4.5%	2	12.5%			3	6.4%
復職								
懲戒処分	2	9.1%	2	12.5%			4	8.5%
退職			2	12.5%			2	4.3%
勤務延長、再雇用								
その他経営又は人事								
賃金未払	2	9.1%			1	11.1%	3	6.4%
賃金増額	1	4.5%					1	2.1%
賃金減額	1	4.5%	1	6.3%			2	4.3%
一時金	1	4.5%	1	6.3%			2	4.3%
退職一時金								
解雇手当								
休業手当			1	6.3%			1	2.1%
諸手当								
その他賃金								
年金(企業年金・厚生年金等)								
労働契約								
労働時間								
休日・休暇								
年次有給休暇	1	4.5%					1	2.1%
育児休業・介護休業								
時間外労働								
安全・衛生								
福利厚生制度								
社会保険								
労働保険								
その他の労働条件等	1	4.5%					1	2.1%
セクハラ								
パワハラ・嫌がらせ	3	13.6%	5	31.3%	3	33.3%	11	23.4%
その他	2	9.1%					2	4.3%
計	22	-	16	-	9	-	47	-

(注) 1件の申請で複数の区分に該当する場合、それぞれの区分に計上しており、第1表の新規申請の件数の計とは一致しない。

第3表 終結処理区分

区分	年度	27年度		28年度		29年度		合計	
		件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
終結	不開始								
	不参加	5	38.5%	3	33.3%	3	42.9%	11	37.9%
	打切	6	46.2%	3	33.3%	1	14.3%	10	34.5%
	取下			1	11.1%			1	3.4%
	解決	2	15.4%	2	22.2%	3	42.9%	7	24.1%
	合計	13	—	9	—	7	—	29	—
翌年度繰越		1	—		—	1	—	—	—

(2) 取扱事件一覧

(新規受付)

事件番号	受付日	申請区分	申請事項	処理結果	あつせん期日	終結日 処理日数	あつせん員		
							公	労	使
29(個)250号 卸売業・小売業	29.4.10	労	解雇撤回・職場復帰	解決	29.4.27	29.4.27 18日	藤原	筒井	川村
29(個)251号 卸売業・小売業	29.5.2	労	解雇についての金銭解決	不参加		29.5.11 10日			
29(個)252号 生活関連サービス業・娯楽業	29.7.19	労	パワハラに対する謝罪、治療費等の請求	不参加		29.8.4 17日	柴田	岡林	森
29(個)253号 教育・学習支援業	29.9.14	労	雇止めの撤回又は契約期間分の賃金補償	打切	29.10.30 29.11.20	29.11.20 68日	藤原	池澤	加藤
29(個)254号 宿泊業・飲食サービス業	29.9.22	労	パワハラに対する謝罪、未払賃金及び慰謝料の支払	不参加		29.10.16 25日	柴田	筒井	西山
29(個)255号 医療・福祉	29.10.4	労	パワハラで退職を余儀なくされたことへの経済的補償等	解決	29.12.8	29.12.12 70日	川田	岡林	小笠原
29(個)256号 不動産業・物品賃貸業	29.11.28	労	解雇撤回又は賃金補償	解決		29.12.11 14日			
29(個)257号 宿泊業・飲食サービス業	30.3.23	労	雇止め理由の説明	繰越			川田	武政	加藤

- (注) 1 事件番号は、暦年+通し番号
 2 処理日数は、受付日から終結日までの日数